

イチゴ観光園の来客激減
SNSで情報発信し完売
コロナ禍 乗り越え

中村 嘉宏さん 静岡市

【静岡支局】「お客さまの『こんなにおいしいの?』の声が何よりの励み」と話すのは、静岡市清水区でイチゴ40坪を経営する中村嘉宏さん(67)。観光農園「なぎさ園」をメインに「章姫」「紅ほっぺ」を栽培している。

1月から5月の観光農園の売り上げが1年の収入の9割以上を占めるが、新型コロナウイルス感染症の影響で、3月と4月は前年の

3分の2まで減少。例年は5月中旬まで開園している農園を4月下旬で終了した。

来客数が大幅に減る中、



「石垣イチゴと石垣ハウスを守り続けたい」と中村さん

観光農園で消費しきれないイチゴを完全予約制の激安セールで販売。家族の提案で会員制交流サイト(SNS)に投稿したところ、県内外から問い合わせが殺到し、瞬く間に完売となった。

来シーズンに向け、手洗い場への消毒液設置や、1グループ1ハウスの受け入れを予定するなど感染症対策への準備を進めている。

「どんなに経営が厳しくなっても、歴史ある静岡の石垣イチゴを継承していきたい」と中村さんは前を向く。

(伊久美)